

# Weekly Report

2010~2011年度



作者の言葉

我が百合丘ロータリークラブのシンボルマーク百合の花は、世に多く育つ様に、この多岐にわたる活動、即ち「花」の様に、咲き誇り、その香りを、多くの人に届けて、その心を、癒やして、その心を、清く、静かに、感じ、させよう、と、ある、大矢会

平成23年5月31日(火)

## 第1582回例会

会長 安藤 登  
 幹事 山口 篤  
 会報 中村 和広

川崎百合丘ロータリークラブ ホームページ <http://www.kawasaki-yurigaoka-rc.jp/>

### 第1582回例会記録 平成23年5月31日(火) 41/45回

#### <点鐘>

安藤登会長

#### <幹事報告>

山口篤幹事

#### <ソング> 四つのテスト

- \*文書着 川崎中RC 川崎とどろきRC  
新川崎RC 川崎大師RC
- \*会報着 川崎中RC 川崎とどろきRC

#### <お客様ご紹介>

安藤登会長

#### <ニコニコ委員会>

佐々木委員長

東京新都心RC 小川弘様  
 川崎RC 白井勇様

川崎RC 白井勇様→「いつもお世話になっております。よろしく願いいたします」。当クラブより安藤登会長→「大矢会員、卓話をよろしく願いいたします」。山口篤幹事→「東京新都心RC 小川弘様、川崎RC 白井勇様ようこそいらっしゃいました」。大矢会員→「今日は田中一村についてお話させていただきます」。浅沼会員→「大矢先生、本日の卓話、楽しみにしています。よろしく願いします」。以下、感謝をこめてニコニコへ。安藤亨会員、安藤志子会員、井上勇会員、伊丹会員、鴨志田会員、北島会員、小塚会員、内藤会員、中島健児会員、中島真一会員、中村会員、野島会員、東会員、尾崎会員、関山会員、白井会員、鈴木会員、高田会員、玉井会員、田内会員、碓井会員、渡邊会員、山口福枝会員、山崎会員、結城会員、佐々木会員。

#### <会長報告>

安藤登会長

#### <出席委員会>

山口福枝委員長

- 第2590地区 国際青少年交換2010~11年度 来日学生終了書授与式ならびに歓送会の件  
6/25(土) 14:00~15:20 歓送会15:30~17:00
- 地区ローターアクト 第22回関東部ブロック研修会のご案内  
6/4(土)~6/5(日) 碓井委員長に依頼いたします。
- クラブ事務局員連絡会開催のご案内  
6/16(木) メモアールプラザソシア21  
太田事務員に依頼いたします。
- ロータリーの友より 家庭料理・郷土料理・創作オリジナル料理等自慢料理をご紹介ください。中村会員が詳しいのではないかと思いますのでよろしく願いいたします。
- 麻生観光協会総会のご案内  
6/9(木) 麻生区役所4F
- 川崎・しんゆり芸術祭総合プログラム発行と開催のお礼が届いております。

	会員	出席	欠席	メーク	出席率
第1582回	41*	35	6		85.37%
第1581回	41*	33	8	2	85.37%

\*出席免除会員1

- 第1584回 6月14日 本年を省みて
- 第1585回 6月21日 本年を省みて
- 第1586回 6月28日 移動例会 会長・幹事ご苦労さん会

※諸事情により、スケジュールは変更になる場合があります。

<ロータリー財団>

北島委員長

高田会員→「達成です」。

<米山奨学委員会>

鴨志田委員

白井会員→「先日は妻に美しい花をありがとうございます。達成いたしました」。高田会員→「達成です」。

<ニコニコ・財団・米山委員会>

	今回		累計	
ニコニコ	31件	32,000円	1,057件	1,167,115円
財団	1件	15,000円	42件	500,000円
パネファクター	0件	0円	2件	172,000円
米山	2件	30,000円	44件	555,000円

本日のプログラム

<会員卓話>

大矢会員

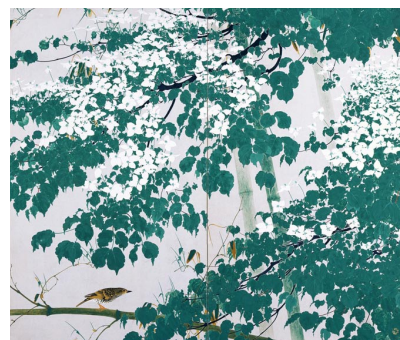
本日は、田中一村についてお話したいと思います。今月15日から17日まで鹿児島県の奄美大島に行ってきました。西郷隆盛が流された小さな島ですが、実際に行ってみると結構広く、生えている植物も南国の植物です。梅雨の季節に入っていましたが、この季節だからこそ田中一村の描く白い花々や蘭などが咲き誇っており、とても楽しい三日間でした。

田中一村は昭和59年にNHKの日曜美術館の中で取り上げられとても反響が大きく、その後一大ブームが起きました。みなさんがご覧になっている『田中一村の世界』は、私の弟が自分として取り上げなければならない作家と感じ、手紙や資料など20年かけ収集に走り回り編集したものです。

田中一村の美術館は、奄美大島の昔の空港の跡地にある、昔の南国のような中に現代のありとあらゆる施設を取り入れた素晴らしい美術館です。天皇・皇后陛下、皇太子ご夫妻、秋篠宮ご夫妻がいらした際には私の弟がご案内しました。

田中一村は奄美に19年間いて、69歳で亡くなりました。その19年の間、つむぎの工場で3年働き、5年自分の仕事をするというような、繰り返しの生活だったようですが、奄美に行って植物群を見たときに、自分の追い求める道を発見したのではないかと思います。生存しているときには、大きな賞などももらえませんでした。自分の好きな道を歩めた田中一村は、やはり恵まれていたのではないかと思います。ぜひ奄美に来ていただけたらと思います。

大矢会員の解説とスライドで田中一村氏の作品を鑑賞しました。



■ 田中一村プロフィール

明治41年、栃木県生まれ。大正15年、東京美術学校『現東京藝術大学』に入学。東山魁夷、橋本明治、加藤栄三、山田申吾らと同級になるも、3ヶ月足らずで退学し、独学で画家人生を生きることとなる。南画から出発し決別、日本画の道を歩み始め、ひたすら写生に没頭。昭和22年、39歳のとき『白い花』で青龍社展に入選。昭和33年、院展落選を機に奄美に渡り、新しい創作への道を模索しながらの移住だったと思われる。昭和52年69歳で生涯を終える。